

巻頭言

知の宇宙

原田 安啓

(前姫路大学 教授, I-LISS Japan Chapter 副会長)

「図書館」と共に生きて半世紀近くになる。図書館情報学を講じていた 20 年ほど前に、故志保田務先生を知り、そして I-LISS に参加するようになりました。

図書館は「知の宇宙」と言われます。ところで、我々のこの宇宙は 138 億年前の過去のある時点で突然始まったが、その前はどうかを知ることは不可能であると同時に、その果てつまり大きさを見極めることもできない。科学技術を人類は絶え間なく進歩させてきたが、人類にとうとう解決・解明不能な問題が見えてきたことを図書館の本は教えてくれる。

人類をここまで発展(進化)させてきた「知」という能力に一つの限界を知る時代がきたようだ。宇宙探究の歴史はそう古くないのに、もう限界かと思うなかれ、解無しの広すぎる宇宙の片隅に生きる我々だが、星の数ほどやらねばならないことがあるはず。広大無限に広がる宇宙に存在することを考えるとき、まずしなければならないことは、諍いや陣取り合戦のような愚かな戦争を止めることであろう。

そして夜空の星々を眺めてみよう。現実の世界が実感され、それぞれに様々な解が浮かぶかもしれない。